

駅に日用品プラスチック容器^(※1)回収ボックスを設置・リサイクルする実証実験を開始
 ～東急電鉄とユニリーバ・ジャパンが循環型社会を目指す「UMILE(ユーマイル)プログラム」で連携～

東急電鉄株式会社
ユニリーバ・ジャパン

東急電鉄株式会社(以下、東急電鉄)とユニリーバ・ジャパンは、プラスチックがごみにならない循環型社会を目指して、2022年3月28日(月)から田園都市線南町田グランベリーパーク駅において、ユニリーバ製品の使用済みプラスチック容器の回収ボックスを設置・リサイクルする実証実験(以下、本実証実験)を開始します。

日本は一人当たりの使い捨てプラスチックごみ量が米国に次いで世界2位です^(※2)。しかし、日本の日用品においては、飲料ペットボトルとは異なり、使用済み容器を素材別に分別回収する仕組みがないことなどから、多くのプラスチック容器が再び容器から容器へとリサイクルされていないのが実情です。

今回両社が連携する「UMILE(ユーマイル)プログラム」は、毎日の暮らしの中でお得にエコ活ができるプログラムとして、2020年11月よりユニリーバ・ジャパンが開始したものです。ご家庭で使用後に洗浄・乾燥したユニリーバ製品の空のプラスチック容器を回収ボックスに入れ「リサイクルしたため」、またはユニリーバのつめかえ製品を「買ってためる」の2つの方法で、「UMILE」というポイントをためられます。UMILEは、LINEポイントに交換したり、子どもたちのために活動している団体に寄付できます(1UMILE=20LINEポイントまたは20円の寄付)。回収した空容器は、再生工場にて処理・加工し、エコグッズなどにリサイクルされます。同時に、プラスチック容器を再び容器へと戻す「ボトル to ボトル」(水平リサイクル)に向けた検討も進めています。

これまで、このプログラムでは小売店を中心に回収ボックスを設置していましたが、本実証実験で新たに駅に回収ボックスを設置することで、平日の通勤・通学前や土休日のお出かけの際など、より幅広い方々がさまざまなシーンで気軽にプラスチックをリサイクルできる環境を提供します。

なお、南町田グランベリーパーク駅に設置する回収ボックスには、廃棄予定の東急電鉄駅係員の制服を活用し、オリジナルのデザインをほどこしています。

東急電鉄は、2021年5月に発表した新・中期事業戦略で環境方針を掲げ、交通手段として優れた環境性能により、脱炭循環型社会に貢献するため、さらなる環境性能の向上と鉄道利用促進に取り組んでいます。今後は、幅広いプラスチック容器の回収を目指すなど、誰もが参加しやすい資源循環型の取り組みを推進し、東急線沿線のサステナブルなまちづくりに取り組みます。

ユニリーバは、成長戦略「ユニリーバ・コンパス」のもと、全世界で2025年までに「非再生プラスチックの使用量を半減する」「プラスチックパッケージを100%再使用可能・リサイクル可能・堆肥化可能にする」「販売量よりも多くのプラスチックパッケージの回収・再生を支援する」という目標を掲げています。日本でも、本実証実験を含む取り組みを通じて、プラスチックがごみにならず、資源として再利用される循環型社会の早期実現を目指します。

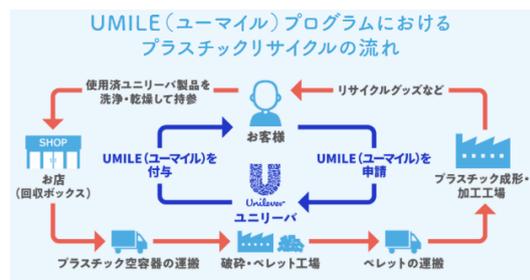
両社は今後、本実証実験の本運用に向け、鉄道事業を通じて幅広い顧客接点を持つ東急電鉄と、サステナブルなビジネスモデルの構築において国内外で豊かな経験やノウハウを持つユニリーバ・ジャパンの強みを生かし、連携を進めていきます。詳細は、別紙の通りです。

(※1)ユニリーバ製品のプラスチック製のボトル、つめかえ製品(ヴァセリン、ジフ、ドメスト、レセナ、サシェ除く)

(※2) 出典:国連環境計画「シングルユースプラスチック」(2018)



▲回収ボックスイメージ



▲プラスチックリサイクルの流れ

■実証実験 概要

- 場 所： 田園都市線南町田グランベリーパーク駅改札付近
- 開始時期： 2022年3月28日(月)※実施終了日は、現地およびホームページなどでお知らせします。
- 実施内容： 「UMILE(ユーマイル)プログラム」を活用し、日用品の使用済みプラスチック容器を回収します。
- 実施時間： 駅営業時間中(初電～終電まで)
- 回収主体： ユニリーバ・カスタマー・マーケティング・ジャパン株式会社

■「UMILE(ユーマイル)プログラム」概要

UMILEプログラムは、毎日の暮らしの中で、お得に、楽しく「プラスチックは資源」が“あたりまえ”になる未来に向けたアクションをとれるプログラムです。このプログラムでは、ボトル製品に比べてプラスチックの使用量が約70～90%減らせるユニリーバのつめかえ製品を「買ってためる」、ご家庭で使用後に洗浄・乾燥した空のプラスチック容器をパートナー店舗の回収ボックスに入れて「リサイクルしてためる」の2つの方法で、「UMILE(ユーマイル)」というポイントをためられます。ためたUMILEは、LINEポイントに交換したり、子どもたちのために活動している団体に寄付できます(1UMILE=20LINEポイントまたは20円の寄付)。

詳しくはこちら：<https://www2.unilever.co.jp/umile/ecocp.html>

The banner features a colorful background with a blue and yellow gradient. On the left, it says 'お得にエコ活!' (Eco-activities are more profitable!) and 'UMILEプログラム!' (UMILE Program!). Below this, it lists '3 steps' (カンタン3Step!). Step 1: '公式サイトにアクセス!' (Access the official site!) with a QR code. Step 2: 'きれいに洗って乾かして' (Wash and dry cleanly) and 'つめかえを使う 空き容器を回収' (Use refills and recycle empty containers). Step 3: 'リサイクルグッズ' (Recycled goods) and 'LINEポイント' (LINE points). On the right, it states '1UMILE (1ユーマイル) = 20円相当' (1 UMILE = 20 yen equivalent) and '※LINEポイントに交換or寄付の場合' (When exchanging or donating to LINE points). At the bottom, it says 'ユニリーバ UMILE' with a search icon, '応募は写真を撮って送るだけ!' (Just take a photo and send it!), and 'UMILEを使って交換・寄付!' (Exchange or donate using UMILE!).

■回収BOX概要

東急電鉄の使用済み制服(駅係員用)を綿に戻したのち、ボード化し、回収BOXを作成しています。

※廃棄せざるを得ない制服をプラスチック容器回収箱に再利用することで環境負荷低減に取り組んでいます。ボードは、門倉貿易株式会社が繊維リサイクル率の向上を目指して、開発を行った100%繊維系廃材からできたリサイクル素材「リフモ」を使用しています。

<http://www.kadoco.co.jp/rifmo/shikiita.html>



▲活用される東急電鉄制服イメージ



▲回収ボックスイメージ

■「南町田グランベリーパーク」の概要

- まち名称：「南町田グランベリーパーク
(Minami—machida Grandberry Park)」
- 敷地面積：約22ha
- 交通：田園都市線南町田グランベリーパーク駅直結 /
東名高速道路横浜町田ICから約1分
- 開業日：2019年11月13日
- 南町田拠点創出まちづくりプロジェクトホームページ
<http://minami-machida.town>



▲田園都市線 南町田グランベリーパーク駅

- 受賞歴：
 - ・令和2年度緑の都市賞「緑の事業活動部門」国土交通大臣賞
https://urbangreen.or.jp/wp-content/uploads/2020/10/201022_press_R02_3show.pdf
(2020年10月22日公益財団法人都市緑化機構によるプレスリリース「都市の緑3表彰 受賞者決定「第40回緑の都市賞」
 - ・令和2年度都市景観大賞「都市空間部門」国土交通大臣賞
<https://www.mlit.go.jp/common/001347545.pdf>(2020年6月11日国土交通省によるプレスリリース「令和2年度「都市景観大賞」各賞の選定～良好な景観に資する地区・活動について、特に優れたものを表彰～」)
 - ・国際的な環境認証制度LEED®(Leadership in Energy and Environmental Design)におけるゴールド認証
<https://www.tokyu.co.jp/image/news/pdf/20200820-1.pdf>(2020年8月20日町田市、東急株式会社、東急電鉄株式会社によるプレスリリース「二子玉川ライズに続く国内2番目のゴールド認証取得。南町田グランベリーパーク「LEED NC(新築部門)」「LEED ND(まちづくり部門)」で駅施設を含む開発では国内初のゴールド認証を取得！」)
 - ・鉄道建築協会賞「停車場建築賞」(南町田グランベリーパーク駅)
<https://www.aran.or.jp/awardmore/?pid=3374&y=2020&category=1>(一般社団法人鉄道建築協会HP)

■東急電鉄 いい街 いい電車 プロジェクトとは…

「いい街 いい電車 プロジェクト」とは、選ばれる沿線日本一に向け、沿線のみならず近くで良い関係「近イ関係」を目指すプロジェクトです。駅がもっと身近になる活動を通して、愛着のある「いい街」と、いつでもどこでも安全に移動できる、安心・快適な「いい電車」の実現に向け、積極的に活動します。

<取り組み事例>

with♡(ウィズ・ハート)

「with♡(ウィズ・ハート)」とは、「ココロでまちを、サステナブルに。」というコンセプトのもと、一人ひとりが自分らしく暮らせるまちがずっと続くように、環境活動などを広めていくアクションです。



■ユニリーバのプラスチックへの取り組み

ユニリーバは、2019年から世界共通の成長戦略「ユニリーバ・サステナブル・リビング・プラン」(USLP)の一環として、プラスチックの使用量削減に取り組んできました。さらに2019年10月には、製品をつくるだけでなく、使い終わった後のことにも企業として責任を持ちたいという想いから、従来の目標を拡充し、2025年までの3つの目標を発表。世界規模の消費財メーカーとして初めて、プラスチックの使用量を絶対量で10万トン以上削減することを約束しました。

現在は、USLP後継プランである「ユニリーバ・コンパス」の下、世界中で「Less Plastic」(パッケージの軽量化、つめかえ用の発売等によりプラスチックの使用量を減らす)、「Better Plastic」(リサイクルしやすい素材や再生プラスチック、植物性プラスチック等、より環境負荷の少ないプラスチックに替える)、「No Plastic」(紙・金属・ガラス等に替える)の3つのアプローチを組み合わせることで、環境負荷を最小にしながら、プラスチックを大切な資源として活用できるようにしています。また、社外のパートナーとともに、使用済みパッケージの分別回収・リサイクルのための仕組みづくりや、水平リサイクル技術の検証、量り売り販売等の新しいビジネスモデルの構築も進めています。詳しくはユニリーバ・ジャパンのサイトをご覧ください:

<https://www.unilever.co.jp/planet-and-society/approach-to-plastic/>